

带状疱疹を予防するための水痘ワクチン接種について

带状疱疹という病気があります。胸や背中を中心に、神経の走行に沿って痛みや痛がゆいような症状が出現し、それとともに皮膚に水ぶくれ様の発疹が出現する病気です。その後、次第に痛みと皮膚の発疹は軽快、消失する方が多いのですが、ウイルスが神経の根元に残り、発疹が消えても神経痛が長く続き、苦しむ場合があります。

带状疱疹後の神経痛は高齢になって病気になった方ほど多く、高齢化した日本では、この病気で苦しむ人が増えると考えられます。



带状疱疹は水ぼうそうのウイルスとおなじもので、最初に感染した場合は水ぼうそうになり、ワクチン等で免疫ができた後に感染、発病するときは带状疱疹になります。

最近、米国では60歳以上の方に対して水ぼうそうのワクチンを再度接種することを推奨しています。これは約3万8千人を対象とした研究で、ワクチン接種により带状疱疹の発病が約半分になり、感染後長引く神経痛が残る頻度が66.5%減少したという結果をもとにしており、その効果は少なくとも5年間は持続するようです。

日本では保険適応になっておらず自費になりますが、当院では希望する方には水ぼうそうワクチンを接種いたしますのでお申し出ください。

1回の接種費用は8,200円です。